

石炭需給の増減が

珍しく正反對に反映

常用増進 番狂はせの發送統計
省用増進 番狂はせの發送統計
常用増進 番狂はせの發送統計
常用増進 番狂はせの發送統計

権威松崎憲司氏が

「財經を語る」會

あす湯本無盡で主催
第一卒業生
社會見學
近々公判も傍聴

磐中から

陸軍少將

今泉吉貞大佐進級
昨日附々で發令された
陸軍の三月定期昇進により
歩兵大佐今泉吉貞(磐城)が
陸軍少將に進級した

燃料報國

汽機協会の宣傳

汽機協会の宣傳
汽機協会の宣傳
汽機協会の宣傳
汽機協会の宣傳

豫算市會

後四日再開

慎重検討。本會議へ
全員か、或は半数委員で
休會ありの平市豫算市會は
後四日再開、全般に
重なる質問は行はれ全員か
或は半数の委員附託とな
り七日間の本會議に附され
るものと見られてゐるが
あつたは既報の外豫算面中
の目ざしは二、三。但しこ
れは委員會で修正されるか
は判らない

母子保護法で

社會事業費増額

扶助三〇圓、醫療費五〇
圓、埋葬費一四圓
扶助三〇圓、醫療費五〇
圓、埋葬費一四圓

排水抄らす

(炭礦地)

排水抄らす(炭礦地)
排水抄らす(炭礦地)
排水抄らす(炭礦地)
排水抄らす(炭礦地)

義務教育交付金

平市には五千五百圓

義務教育交付金
平市には五千五百圓
義務教育交付金
平市には五千五百圓

松ヶ岡「春の装ひ料」

サツと二千五百兩

松ヶ岡「春の装ひ料」
サツと二千五百兩
松ヶ岡「春の装ひ料」
サツと二千五百兩

雪洞補助、歓迎費等

松ヶ岡「春の装ひ料」

雪洞補助、歓迎費等
松ヶ岡「春の装ひ料」
雪洞補助、歓迎費等
松ヶ岡「春の装ひ料」

鋪装工事は三ヶ所

新しい土木工事箇所

鋪装工事は三ヶ所
新しい土木工事箇所
鋪装工事は三ヶ所
新しい土木工事箇所

貯金奨励

記念押印

貯金奨励
記念押印
貯金奨励
記念押印

人妻絶死

上小川村

人妻絶死
上小川村
人妻絶死
上小川村

町村會便り

町村會便り

町村會便り
町村會便り
町村會便り
町村會便り

各要所に掲出した

不法極る排日宣傳

各要所に掲出した
不法極る排日宣傳
各要所に掲出した
不法極る排日宣傳

中陣を聴く

市内六間出陣

中陣を聴く
市内六間出陣
中陣を聴く
市内六間出陣

伊藤貞衛君(通)

市内六間出陣

伊藤貞衛君(通)
市内六間出陣
伊藤貞衛君(通)
市内六間出陣

板橋の架換修理十ヶ所

その工費千七百八十圓

板橋の架換修理十ヶ所
その工費千七百八十圓
板橋の架換修理十ヶ所
その工費千七百八十圓

人妻絶死

上小川村

人妻絶死
上小川村
人妻絶死
上小川村

店員を迎ふ

蓮沼巨商店

店員を迎ふ
蓮沼巨商店
店員を迎ふ
蓮沼巨商店

生徒募集

磐城家政學園

生徒募集
磐城家政學園
生徒募集
磐城家政學園

生徒募集

磐城佑賢學舎

生徒募集
磐城佑賢學舎
生徒募集
磐城佑賢學舎

吉田眼科醫院

吉田眼科醫院

吉田眼科醫院
吉田眼科醫院
吉田眼科醫院
吉田眼科醫院

靈峰羊羹

小川郷前

靈峰羊羹
小川郷前
靈峰羊羹
小川郷前

店員を迎ふ
一、小商店員 (十六歳以上)
二、中商店員 (廿歳前後)
各二名を迎へます
仕着小遣持、追々昇給
休日毎月二回、第一日三時、(本細面談)
東京市大森區馬込町二丁目一、〇二五
地、呉服
蓮沼巨商店
電話大森六二七四番

生徒募集
古き歴史と理想の學園
向學の青少年は來れ!
本科 (中等義務教育) 壹千名
受驗科 (各種受驗準備教育) 五十名
研究科 (専修、高檢、教員檢定受驗) 若干名
本校卒業生並、同程度學力者
創立明治三十八年
平市城山 **磐城青年學校**
學校長 從五位 本田 忠綱
副校長 長五郎

生徒募集
一、學費の經濟を主眼とし
二、實際生活に即した指導
三、女性の使命感に生きたる信念
の教育
磐城家政學園
(寄宿舎の) 平市八幡小路(八幡社) 社
(便あり)

生徒募集
◎中等科 中堅公民養成
◎専修科 受驗難關突破
◎無試験入學許可
◎軍事教練の實施
◎商業簿記科ノ特設
◎古教科書半額以下ノ譲渡特施
磐城佑賢學舎
三九話電山城市平

吉田眼科醫院
嗣子義七儀病氣ノ爲ノ療養中ノ處
去ル二十五日午後五時三十分心臓
麻痺ヲ起シ死去致候間此段御通知
申上候
追々三月三日午後一時自宅出棺菩提院ニ
於テ告別式相替可申候
昭和十三年三月三日
平市字大町二十三番地
父市字大町二十三番地
友入總代 室井谷 達政 喜
親戚總代 半井 義治
田久内 彌正 廉助
小川郷前 平屋賣店

靈峰羊羹
小川郷前
平屋賣店

靈峰羊羹
小川郷前
平屋賣店